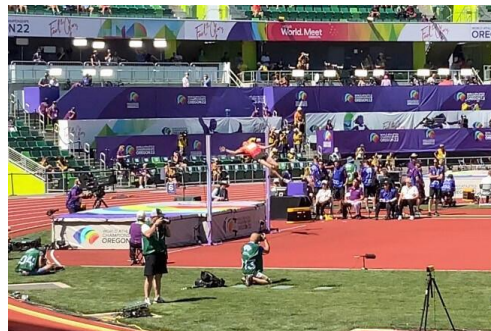


# 学生活動等



- ・本学学生チームが「第14回学生金型グランプリ プレス用金型部門」で金賞及び（一財）産業デザイン賞を受賞
- ・本学学生チームが「Tongaliビジネスプランコンテスト2022」で最優秀賞等を受賞
- ・教育学研究科修了生の赤松選手が世界陸上 男子走高跳の予選に出場
- ・環境サークルG-ametが「ともいきSDGsシンポジウム チャレンジアワード東学」において東海学園賞を受賞
- ・「ISO14001内部環境監査員養成研修」修了証書授与式を実施
- ・本学学生が未来博士3分間コンペション2022においてSpringer Nature Award を受賞
- ・「考えようSDGs！エコ活動啓発ポスターコンクール」を開催
- ・本学学生が「キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」で教員審査委員賞を、「ビジネス創造コンテスト」で最優秀賞等を受賞
- ・「本学教育学研究科を修了した赤松諒一さんが第10回アジア室内陸上競技選手権大会で優勝



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立  
大学機構



岐阜大学

## 本学学生チームが「第14回学生金型グランプリ プレス用金型部門」で金賞及び（一財）産業デザイン賞を受賞

### 【概要】

「第14回学生金型グランプリ（（一般社団法人）日本金型工業会主催）」において「プレス型部門（課題 角絞り品）」に出場した本学学生チームが金賞及び（一財）産業デザイン賞を受賞しました。

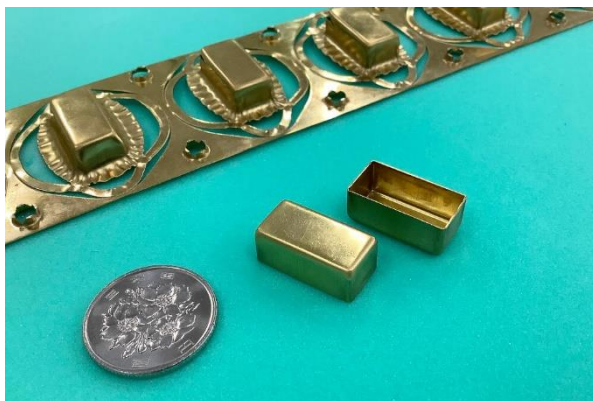
本グランプリは、金型を学ぶ学生達が製作した金型、成形サンプルを展示し、学生自身が金型製作の設計から金型加工、成形に至る実施内容を説明するもので、今回で14回目の開催となります。インターモールド2022（インテックス大阪4/20～23）内に金型展示ブースも設けるため、民間企業の社員が自由にブースに立ち寄り、学生達と交流できることから、ものづくりの現場で課題となっていることを議論する貴重な場にもなっています。

令和4年5月19日（木）には、今回の成果について、学生チーム及び指導教員による吉田学長への報告会が行われました。

グランプリに出場した学生は、「材料を割れないように加工できる金型にすることや、加工部分を材料から正確に分離させる構造を作成することが大変だった」と報告し、吉田学長は、「ものづくりは岐阜大学の得意分野であり、そこで金賞を取られたことを誇りに思う。取り組まれた学生、指導された先生、伝統が脈々と技術を受け継がれたことに敬服する」と称えました。



受賞報告の様子



作成した金型で加工した角絞り品



集合写真

本学学生チームが「第14回学生金型グランプリ プレス用金型部門」で  
金賞及び（一財）産業デザイン賞を受賞

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2022/5/20	岐阜	「全国学生金型グランプリ」プレス部門 最高賞と産業デザイン賞 岐阜大生ダブル受賞 作業効率の良さ評価 ～ 吉田和弘学長, 大学院1年 河瀬彩未さん～
2022/5/24	中日	岐大チーム 金型金賞 学生グランプリ 環境に優しく精度◎ ～ 吉田和弘 学長, 大学院1年 河瀬彩未さん, 紀藤優介さん, 小栗理史さん～
2022/5/26	朝日	岐大 学生金型グランプリV 工学部のチーム15人が今春 ～ 吉田和弘 学長, 大学院1年 河瀬彩未さん～
2022/5/20	岐阜	「全国学生金型グランプリ」プレス部門 最高賞と産業デザイン賞 岐阜大生ダブル受賞 作業効率の良さ評価 ～ 吉田和弘学長, 大学院年 河瀬彩未さん～

## 本学学生チームが「Tongaliビジネスプランコンテスト2022」で 最優秀賞等を受賞しました

### 【概要】

令和4年6月11日（土）に行われましたTongaliビジネスプランコンテスト2022において本学学生4チームが最優秀賞等を受賞しました。

Tongaliビジネスプランコンテストは、東海地域（愛知県・岐阜県・三重県・静岡県）のすべての大学の大学生・大学院生を対象とし、大学発ベンチャーの創出と起業家育成を目的としたコンテストです。

6月27日（月）には、受賞チームの代表者が学長室を訪問し、受賞の報告を行いました。受賞者からはコンテストで披露したビジネスプランの報告があり、「今年中に会社を立ち上げたい」などの目標を学長に伝えました。吉田学長からは、「みなさんの前向きな姿勢を学内に広げてもらい、大学を活性化して行ってほしい。それが教員にも波及し日本一の地域中核大学になるよう中心になって引っ張ってしてくれることを期待している。」と激励しました。

受賞した学生チームのメンバーは以下のとおりです。

#### ◆ Tongali賞（最優秀賞）、サポーター賞（三菱商事賞）、オーディエンス賞

チーム名：artkake

テーマ：捨てられるアートに新しい価値を  
地域科学部4年 夏目 一輝

#### ◆ Tongali賞（4位）

チーム名：ぱーまねんと すぽんじ

テーマ：すぽんじへあ～

美容業界の常識にあなを空ける  
自然科学技術研究科1年 佐藤 綾音

#### ◆ サポーター賞（OKB賞）、海外チャレンジ賞

チーム名：岐阜ミルク

テーマ：ミルク化粧品・入浴剤

～低温殺菌牛乳の可能性を開拓～  
自然科学技術研究科1年 古川 紗帆

#### ◆ サポーター賞（トランコム賞）

チーム名：Agri portal

テーマ：「オンラインセミナー×商談会」  
でスマート農業の導入促進  
応用生物科学部2年 杉本 稜太



受賞報告の様子



集合写真

本学学生チームが「Tongaliビジネスプランコンテスト2022」で  
最優秀賞等を受賞しました

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2022/6/29	岐阜	岐阜大チーム最優秀 東海地区大学「ビジネスプランコンテスト」 "持ち歩く絵画"事業, 考案 ~吉田和弘 学長, 4年 夏目一輝さん, 大学院1年 佐藤綾音さん, 大学院2年 古川紗帆さん, 2年 杉本稜太さん~

## 教育学研究科修了生の赤松選手が 世界陸上 男子走高跳の予選に出場

### 【概要】

本学大学院教育学研究科修了生の赤松選手が日本時間令和4年7月16日（土）午前2時に世界陸上 男子走高跳の予選に出場し、グループBで競技を行いました。

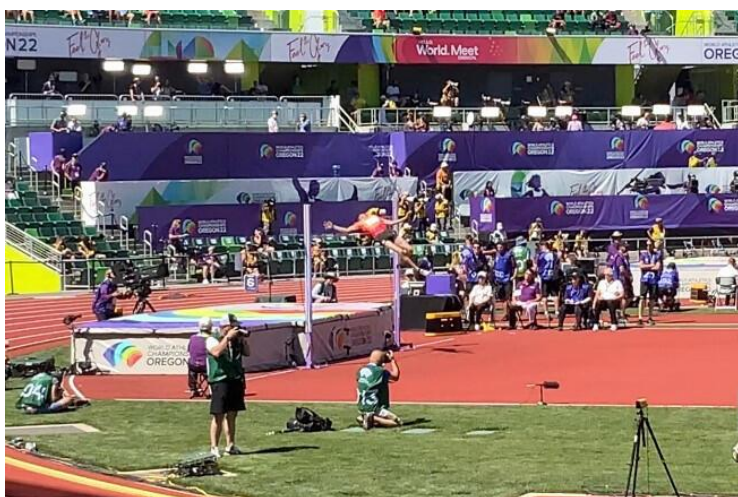
試合開始の30分前には、メインスタジアムへと入り競技前の準備を入念に行いました。試合では、2m17cm、2m21cmの跳躍を1回目で成功させ、その後の跳躍で2m25cmに臨みましたが、惜しくも記録を残すことはできませんでした。その結果、グループBの11位という結果となり、予選突破とはなりませんでした。

赤松選手からは、「皆さまの力強いご声援により、怪我なく無事に予選を終えることができました。ご声援いただいた皆さま、ありがとうございました。今回の世界陸上では、世界の選手たちと一緒に試合ができたため、とてもいい経験ができました。連続で開催される来年の世界陸上では、必ず決勝ラウンドで戦いたいと思います。」とコメントがありました。

試合を終えた後には、赤松選手に対して、現地の子どもたちやオレゴン大学に留学している日本の学生たちから、サインや写真撮影を求められました。

赤松選手に帯同していた林専任コーチからは、「岐阜大学の理念と目標（「学び、究め、貢献する」）にあるように、来年の世界陸上を見据える赤松選手と共に、決勝ラウンドを通じて世界の走高跳について学び、研究し、コーチとして指導していきたいと思います。」と力強く今後の抱負を語ってくれました。また、予選後には、オレゴン大学の学生や留学している日本の学生に対して、岐阜県のことや本学のことについて紹介し、ディスカッションをする場面がありました。なお、男子走高跳の決勝ラウンドは、日本時間の19日に行われました。

赤松選手へのご声援、誠にありがとうございました。次の大会を見据える赤松選手への引き続きのご声援をどうかよろしく願いいたします。



予選での跳躍の様子



試合後にサインをする赤松選手

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2022/7/2	岐阜	赤松, 初の代表選出 男子走り高跳び 世界選手権 ～ 教育学研究科卒 赤松諒一さん ～
2022/7/4	岐阜	世界選手権 男子走り高跳び代表 赤松（岐阜大院 出） 「世界に手届いた」 ～ 教育学研究科卒 赤松 諒一さん ～
2022/7/6	中日	岐阜大の赤松さん抱負 高飛び世界大会「メダル目指 す」 ～ 教育学研究科卒 赤松諒一さん, 吉田和弘 学長 ～
2022/7/6	岐阜	岐阜大の赤松さん抱負 高飛び世界大会「メダル目指 す」 ～ 教育学研究科卒 赤松諒一さん, 吉田和弘 学長 ～
2022/7/8	岐阜	走り高飛び, 世界陸上出場 赤松選手入賞狙う 県庁 訪問 ～ 教育学研究科卒 赤松諒一さん ～
2022/7/11	中日	赤松選手「まず予選突破」 世界陸上男子走り高跳び へ 大垣で壮行会 ～ 教育学研究科卒 赤松諒一さん ～
2022/7/13	朝日	走り高跳び・赤松選手 世界陸上へ決意 岐阜市出身 ～ 教育学研究科卒 赤松諒一さん ～
2022/7/17	岐阜	赤松（岐阜大院出）予選突破ならず 男子走り高跳び ～教育学研究科卒 赤松諒一さん～
2022/7/22	中日	異色ジャンパー 二刀流の挑戦 岐阜大医学部研究生 赤松 世界陸上走り高跳び ～ 教育学研究科卒・医学 部研究生 赤松諒一さん ～

## 環境サークルG-ametが「ともいきSDGsシンポジウム チャレンジアワード東学」において東海学園賞を受賞

### 【概要】

令和4年9月23日（金）に行われました「ともいきSDGsシンポジウム チャレンジアワード東学」において、本学環境サークルG-amet（ジャメット）のメンバーがサークルの活動内容について発表し、「東海学園賞」を受賞しました。

ともいきSDGsシンポジウムは「東海学園大学ともいき教養教育機構」が開催するもので、今回が第一回目の開催です。本シンポジウムのプログラムの一つであるチャレンジアワード東学では、全国の小学生から大学生までの各団体がSDGsへの取り組みや活動の成果発表を行いました。発表会には小学生から大学生までの48団体から応募があり、そのうちノミネートされたG-ametを含め6団体が受賞となりました。

10月13日（木）には、G-ametのメンバーが学長室を訪問し、吉田学長へ受賞について報告しました。G-ametの学生は、古本市や鷺ヶ池自然再生プロジェクト等のサークル活動について紹介し、「環境について自分たちでできることを考えながら活動しています」と話しました。吉田学長は、「大学の取り組みには学生の活動が大切です。ぜひ活動を続け、後輩にも引き継いでください」と激励しました。

岐阜大学は今後も様々な環境活動を推進し、持続可能な社会への貢献を目指します。



発表の様子



受賞報告の様子



## 「ISO14001内部環境監査員養成研修」 修了証書授与式を実施

### 【概要】

令和4年11月22日（火）「ISO14001内部環境監査員養成研修」修了証書授与式を、吉田学長、杉山環境対策室長（副学長）、統括環境管理責任者の八代田教授（応用生物科学部）列席のもと行い、今年度は15名の学生に授与が行われました。

本学では、附属病院を除く全学で環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を認証取得しており、毎年職員と有志の学生による内部環境監査を行っています。

内部環境監査は、本学の環境マネジメントシステムがISO14001の規格に沿って運用されているかを学内の監査員が確認するものです。学生は教職員とともにISO14001の規格の概要や監査の実施手順について学内外の講師による研修を受けたうえで、実際に内部環境監査に監査員として、学生からの目線で監査を行いました。

授与式では、学長から本研修を修了した学生一人ひとりに修了証書が授与されました。その後の意見交換で、学生は「大学の組織の一員となって活動することで、大学の運営に少し関わることができたように思う。内部環境監査員として活動できて良かった。」と話しました。

学長からは「内部環境監査では、学生の皆さんから様々な意見をいただいた。学生が今回の監査に携わってくれたことを誇りに思う。大学として人材育成に寄与できていると感じている。この経験を活かして、ぜひ地球に向き合う人材になってほしい。」と激励の言葉が贈られました。

研修を終えた学生たちの今後の更なる環境配慮活動に期待しています。



集合写真

## 本学学生が未来博士3分間コンペション2022 においてSpringer Nature Awardを受賞

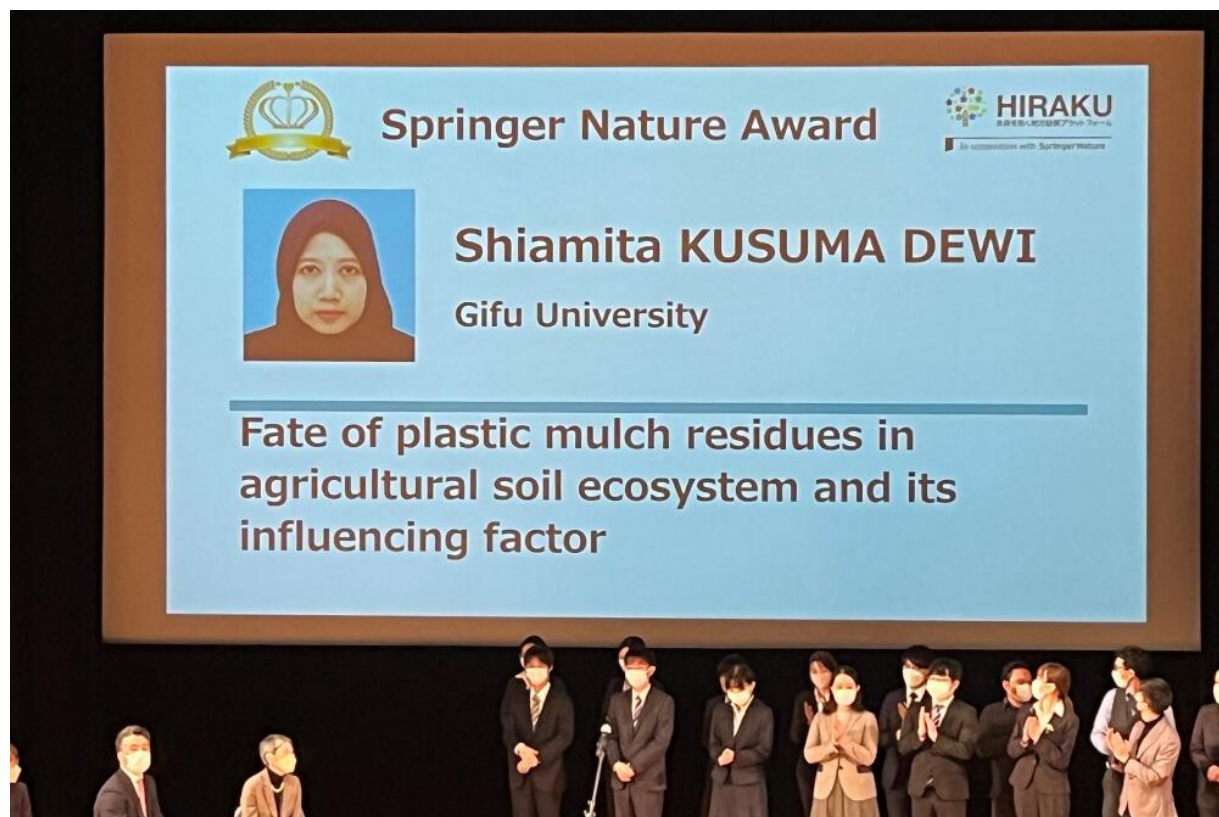
### 【概要】

令和4年11月23日（水）に行われました未来博士3分間コンペション2022において連合農学研究科2年 Shiamita Kusuma DewiさんがSpringer Nature Awardを受賞しました。

このコンペションは、「未来を拓く地方協奏プラットフォーム（HIRAKU）」（代表機関：広島大学）主催で博士課程の学生がスライド1枚3分間で自分の研究についてプレゼンテーションを行うものです。研究内容はもとより、専門外の審査員にいかにかかりやすくプレゼンするかが問われます。本学の学生は英語プレゼン部門で6名がエントリーしました。

Springer Nature Awardを受賞したShiamita Kusuma Dewiさんは、農業用マルチング材残渣の土壌生態系における動態とその影響要因について発表しました。

受賞にあたりShiamita Kusuma Dewiさんは「驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。この受賞のおかげで自分に自信がつき、今後も研究者としての自分を磨き、より社会に貢献していきたい」と述べました。



Springer Nature Award受賞を知らせるスライド

## 「考えようSDGs！エコ活動啓発ポスターコンクール」を開催

### 【概要】

本学は、本学教育学部附属小中学校の児童生徒を対象に「考えようSDGs！エコ活動啓発ポスターコンクール」を開催しました。

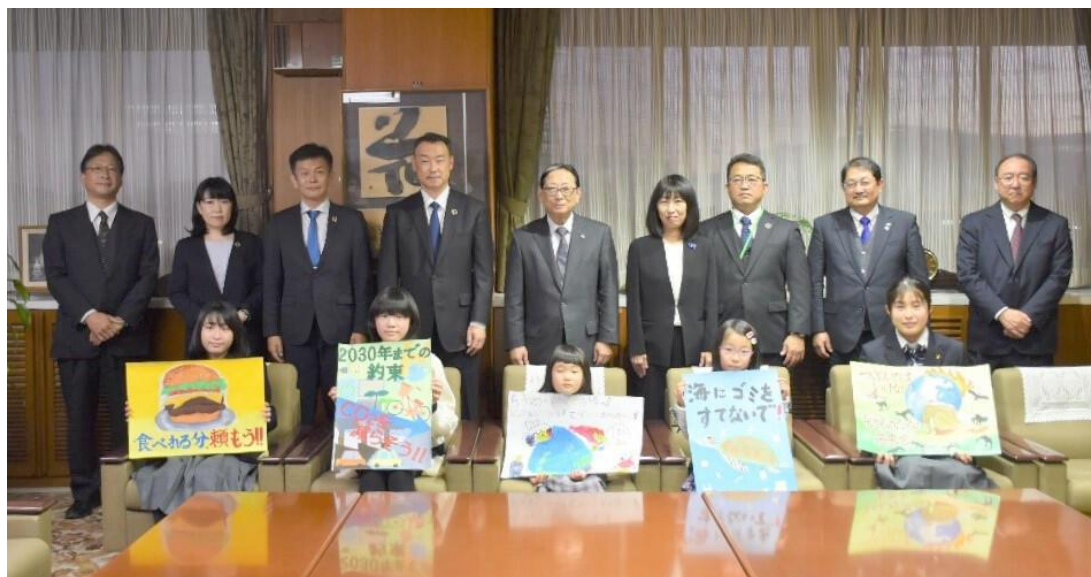
このコンクールは、十六銀行と締結した環境保全における連携に関する覚書の一環として、SDGsについて考え、省エネ、環境美化運動やごみ減量など身近な視点から、エコ活動を啓発する目的で実施したものです。ポスターの募集企画は12回目です。厳正な審査の結果、優秀賞3作品、岐阜大学長賞、十六フィナンシャルグループ賞及び十六銀行賞各1作品を決定しました。

令和4年12月15日（木）には、本学学長室にて受賞作品の表彰式を行いました。表彰式では、受賞した児童生徒一人ひとりに吉田学長より表彰状が、十六銀行の所取締役常務執行役員より副賞が手渡されました。また受賞者に対し、吉田学長からは「一枚一枚の絵から、みなさんの思いを受け取りました。ぜひみなさんが中心となってエコ活動を広めていってほしい」、所取締役からは「環境保全に関する取り組みは大切。我々も一緒に取り組んでいきたい」と言葉がかけられました。これを受け、丸山附属小中学校統括校長は「この取り組みを通して、自分達で情報を取捨選択しながら、勉強して作り上げたことはすばらしいと思います。学びの機会を得られたことに感謝し、今後も学びを広めていってほしい」と述べられました。

また、優秀賞を受賞した9年生の草野菜さんは「授業で絶滅危惧種が多いと知り、保護を訴えたい」とポスターに込められた思いを語りました。

受賞作品はこれまで本学の図書館に展示され、地域の方も含め多くの方にご覧いただきました。今後は、十六銀行加納支店で令和5年1月10日（火）～20日（金）、十六銀行岐南支店で令和5年1月23日（月）～2月3日（金）の期間展示する予定です。

本活動が環境について考えるきっかけとなり、エコ活動が広がっていくことを期待しています。



受賞した児童・生徒との記念撮影

優秀賞受賞作品



手綱 唯 さん (2年)  
「ゴミをすてないで」



澤田 美希羽 さん (5年)  
「今、自分ができること」



草野 栞 さん (9年)  
「つぶしてはいけなくない 生き物たちの未来を」

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2022/12/16	岐阜	エコ啓発ポスター 入賞生徒らを表彰 岐阜大と十六銀 ～ 吉田和弘 学長, 教育学部附属小中学校 9年 草野栞さん ～

## 本学学生が「キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」で教員審査委員賞を、「ビジネス創造コンテスト」で最優秀賞等を受賞

### 【概要】

令和5年2月3日（金）に行われました第19回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会において自然科学技術研究科1年 佐藤綾音さんと郷智彦さんのグループが教員審査委員賞を受賞しました。また、2月3日（金）に行われました第13回ビジネス創造コンテストにおいて、応用生物科学部1年 伊藤思音さんと工学部2年 小林功英さんのグループが最優秀賞とグローバルビジネス賞を受賞しました。

佐藤さんと郷さんのグループは大会において髪の毛に小さな穴をあけ、そこに色素を入れることで髪染めを行うビジネスプランを、伊藤さんと小林さんはコンテストにおいてフィリピンで輸送中の傷などで捨てられるバナナをパウダーにし、利用するビジネスプランを発表しました。

2月24日（金）には、学長へ結果報告を行いました。佐藤さんと郷さんは「髪染めの色がまだ1ヶ月程度で落ちてくる。もっと色持ちを良くしていきたい」、伊藤さんと小林さんは「言葉の壁が課題であり、英語を頑張っていきたい」と話しました。吉田学長は、「次のステップに進んでくれることを期待している」と激励しました。



受賞報告の様子



集合写真

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/2/6	日刊工業	キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 優位性・計画性・熱意を評価 ～【教員審査委員賞】大学院生・佐藤綾音さん～

## 「本学教育学研究科を修了した赤松諒一さんが 第10回アジア室内陸上競技選手権大会で優勝

### 【概要】

令和5年2月10日（金）～12日（日）にかけて、カザフスタン・アスタナで行われた「第10回アジア室内陸上競技選手権大会」において、2020年に本学教育学研究科を修了した（現アワーズ株式会社所属、本学医学系研究科研究生）赤松諒一さんが男子走高跳びに出場し、自己ベストである2m28cmを跳び、優勝し金メダルを獲得しました。また、その前週に行われました「2023日本室内陸上競技大阪大会」でも2m27cmを跳び、大会新記録で優勝しています。

2月21日（火）には、赤松さんと専任コーチである陸上競技部顧問の林陵平助教が学長室を訪問し、優勝の報告を行いました。赤松さんは「助走を変えたことで自己ベストが跳べ、結果につながった。今後もさらに記録を伸ばしていきたい」と話しました。吉田学長からは、「コーチである林先生と共に2人3脚で頑張って壁を越えてほしい」と激励しました。



学長報告の様子



集合写真

（左から、杉山副学長、林助教、赤松さん、吉田学長）

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/2/6	岐阜	赤松が大会新V 男子走り高跳び 日本室内選手権 ～ 赤松諒一さん（岐阜大院出）～
2023/2/18	岐阜	アジア室内陸上 男子走り高跳びV 赤松「世界標準目指す」 ～ 赤松諒一さん（岐阜大院出）～
2023/2/22	中日	走り高跳びの目標 より高く 日本室内選手権などV 赤松選手が抱負 ～ 医学系研究科研究生 赤松諒一さん～